

処理前 ▶ 処理後

葉にかけて根まで枯らす!



農林水産省「稲発酵粗飼料  
生産・給与技術マニュアル」  
に記載された農薬です。

お得な大型規格あります!



野菜類でも、  
果樹類でも、  
家周りでも!

茎葉処理除草剤 安くて、よく効く、登録農薬!

農林水産省登録  
第19929号



# クサクリーン<sup>®</sup> 液剤

グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

希釈倍数の目安  
(通常散布の場合)

100倍

50倍

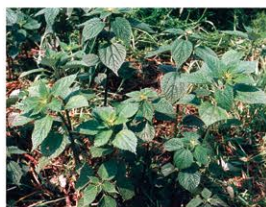
25倍



スズメノカタビラ



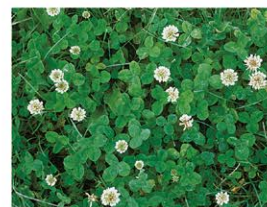
ギシギシ



カラムシ



クズ



シロツメクサ



ヨシ



ヨモギ



チガヤ



ヤブカラシ



ツクサ



セイトカアワダチソウ



ハコベ



ハマスゲ



ササ



スギナ (濃厚少量散布が効果的です。)

5L少量散布に適用拡大!



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

★作物や適用雑草等によって薬量は異なります。必ず適用内容をご確認下さい。 ※通常散布100ℓ/10aとの比較

クサクリーンは登録商標です

■ 使用基準 ■

Main table with columns for crop name (作物名), application site (適用場所), weed type (適用雑草名), application period (使用時期), application rate (10アール当りの使用量), application frequency (本剤の使用回数), and application method (使用方法).

Summary table for application methods (取扱い) including application sites (適用場所), weed types (適用雑草名), application period (使用時期), application rate (希釈倍率), application volume (使用液量), application frequency (本剤の使用回数), and application method (使用方法).

【2023年4月1日現在】

\*「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

■ 上手な使い方 ■

- 雑草発生前の散布は、効果がありません！
■ 天気の良い日に散布してください！
■ 希釈の際はきれいな水を使いましょう！
■ ムラなく散布してください！！
■ 散布前と散布後7～10日間は、雑草を刈り払わないでください！

■ 散布適期は、雑草の生育盛期 ■

一年生雑草
発生がほぼ完了し、草丈が15～30cm位になった頃に散布すると安定した効果がえられます。
多年生雑草
根まで枯らすためには、生育盛期\*～開花期前までに散布するのが効果的です。
\*根部の貯蔵養分の残存量が少ない時期

■ 雑草の種類やステージによって使用量を決める ■

- 通常散布の場合
一年生雑草が優占する場合
250～500mlを50～100Lの水に希釈して散布
多年生雑草が優占する場合
500～1,000mlを50～100Lの水に希釈して散布
少量散布の場合
希釈水量に応じた少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布
一年生雑草が優占する場合
250～500mlを5～15L、25～50Lの水に希釈して散布
多年生雑草が優占する場合
500～1,000mlを5～15L、25～50Lの水に希釈して散布

■ 注意事項 ■

- 本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
●本品は除草剤の散布は、草丈や葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないでください。
●本剤は通常2～14日で効果が発現し、効果完成までにさらに日数を要するので、誤って再散布しないでください。
●スナガ防除に際しては、スナガの生育期を過ぎた時期での散布及びスナガが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるため、適期にスナガにかきかきするようによく注意して散布してください。
●処理後5時間以内の降雨は効果を下げる事があるため、天候を良く見極めながら散布してください。
●少量散布の場合は、希釈水量に応じた少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布してください。
●水田への飛散、流入により水稲に被害を生じるので、十分注意してください。
●出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を及ぼす可能性があるため、必ず出芽前に散布してください。
●主な処理対象は雑草であり、農作物には十分に注意してください。
①クシには株頭ノタなどをつけ、葉液がくしみ込むように注入処理してください。
②落葉雑草には、樹幹の回りに等間隔にナクダを入れ、葉液を注入処理してください。
③処理後から15m以内で発生した雑草のみに散布してください。また、雑草の生長に遅延させないよう十分に注意してください。
●雑草に散布を行う場合は、収穫後、直ちに切り口全面に直接散布してください。
●特に生育期間散布に使用する場合は作物にかからないよう十分注意して散布してください。
●農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生じるので、からさないよう十分に注意してください。
●土が乾燥している場合は、葉液の表面を噴霧器（ジェット）等の容器は使用しないでください。なお散布液を調整した容器及び散布器具は、使用後に十分に水洗いしてください。
●本剤の使用に当たっては、使用方法、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
●土が乾燥している場合は、葉液の表面を噴霧器（ジェット）等の容器は使用しないでください。
●公衆・家畜等に散布する場合は、以下のように十分に注意してください。
①水溜池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
●適用作物に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
●なお、及び指導等、衛生管理の内務のない鋼鉄製（ステンレス）の容器は使用しないでください。なお散布液を調整した容器及び散布器具は、使用後に十分に水洗いしてください。
●本剤は樹に対して刺激性があるため樹に入らないよう注意してください。樹に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手洗、顔を洗い、髪を洗ってください。
●公衆、家畜等に散布する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に、小児や使用していないが使用区域に立ち入りしないよう確認し、立てたを立てると配慮し、人畜等に散布を及ぼさないよう注意を払ってください。
●直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手が届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記録しましょう。
\*本製品は農薬用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 \*本印刷物は2023年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い

三井化学 クロップ & ライフ ソリューション株式会社
東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイビルディング
ホームページ: https://www.mc-croplifesolutions.com